# 令和5年度第4回理事会議事録

議事録作成者:松谷昌典

1 日 時:令和5年8月24日(木) 19:00~23:30

2 場 所:公益社団法人日本パワーリフティング協会 〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者(敬称略、順不同):

【理事】古城資久、三浦重則、髙井隆義、実島可斉、寺門浩之、田中彰子、花田祥之、杉本好二、關本正志、菅生桃子、福島政幸、小野琢司、芦崎高志

※理事総数:15名、本日の出席理事13名

※理事の伊差川浩之、遠藤健太は都合により欠席した

【監事】安原徹

※監事総数:2名、本日の出席監事1名

※監事の辻惠は都合により欠席した

【陪席】川越和彦(北海道協会理事)、鈴木光(アンチドーピング委員長)、 二宮正晴(技術委員長)、松谷昌典(事務局長)

理事の三浦重則、髙井隆義、実島可斉、寺門浩之、田中彰子、花田祥之、杉本好二、關本正志、菅生桃子、福島政幸、小野琢司、芦崎高志、監事の安原 徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議 を行った。

4 開 会 定刻、古城資久会長(代表理事)が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

#### 5 議 事

第1号議案:規程類改訂の承認

(1) 公印管理規程

本協会の公印について管理する公印管理規程案が議場に諮られた。種類及び規格、管理者及び用途等を定めたものである。審議の結果、出席理事全員一致で承

認された。なお、陰影については管理上の理由から非公開とする。

(2) 国際大会への選手団派遣規程

国際大会派遣時の行動規範を明確に定めたこと及び、未成年の派遣(高校生生徒は未成年に含む)には成人の指導者等の帯同を義務付けた改訂案が議場に諮られた。過去の国際大会派遣の反省から立案されたもので、違反者には競技者等に関する倫理規程に従い処分を行うことができるものである。審議の結果、改訂案は出席理事全員一致で承認された。

(3) 国際大会派遣選手選考規程

国際大会への選手派遣に際し、未成年(高校生は未成年として扱う)を派遣する場合は、成人の指導者等を帯同することを義務付ける記述を行った。検討の過程で、選手団承認について速やかに行えるよう、承認を国際委員会へ変更する案が検討された。承認機関の変更について出席理事全員が賛同し、規程の再改訂に着手することとなった。

(4) ドーピング防止規程

フェアプレイ委員会が改称され、コンプライアンス委員会となったことへの対応として、名称の変更を行なった改訂案が示された。審議の結果、出席理事全員 一致で承認された。

(5)健康対策指針(感染症ガイドラインの見直し)について 本年5月に感染対策ガイドラインが一括廃止されたため、新たな「健康対策指 針」新設案が議場に諮られた。怪我や病気のある者、過度な減量への注意喚 起、禁煙の推奨など大会に出場する際の方針を定めたものである。審議の結 果、原案は出席理事全員一致で承認された。

(6) 大会実施規程

主催者や主管者の責務等を明確化した「大会実施規程」が議場に諮られた。昨今の全国大会実施に際して発生した問題を解決し、今後の大会運営を安定的なものにするために制作された規程である。今後は主管協会と覚書を締結し、大会を実施する流れとなる。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

第2号議案:令和5年度ガバナンスコード自己公表について

令和5年度ガバナンスコード自己公表について以下の2点について検討がなされた。

(1) 未達項目と対応策について

女性比率 4 0 % 及び外部理事 2 5 % が未達である。今後は役員選任規程により J P A 役員の新陳代謝が起こるため、定款変更も視野に入れた体制のあり方が検討された。本件は継続審議となった。

(2) 中長期計画の年次見直し

中長期計画について見直しが行われた。達成項目については達成の状況 を、未達事項に対しは対策を付記した。審議の結果、中長期計画の修正 案は、出席理事全員一致で承認された。

第3号議案:コーチ講習会について

- (1) 日程及びカリキュラム
  - 講師案及びカリキュラム案の提示がなされた。審議の結果、出席理事全 員一致で承認された。
- (2) 令和12年全指導者義務付けに向けて

スポーツ庁第3期スポーツ基本計画に基づき、JPAにおいても以下のように日本スポーツ協会の指導者資格保有を義務付ける原案が議場に諮られた。①令和7年度以降全国大会に帯同するコーチ等は有資格者とすること、②令和8年度以降都道府県大会に帯同するコーチ等は有資格者とすること、③令和12年度以降加盟ジム等全てのスポーツシーンにおいて指導する場合は資格を義務付けること。これらはスポーツ協会発表のリミットと同じ時系列に設定している。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

### 第4号議案:国際派遣選手団の承認

選手団の承認について議場に諮られた。

(1)2023年8月24日至9月3日にルーマニアで開催されるサブジュニア・ジュニアパワー大会の選手団承認

審議の結果、選手団は出席理事全員一致で承認された。

(2)2023年9月11日至17日に北海道洞爺湖町で開催されるアジアクラシック&エクイップベンチ大会の選手団承認審議の結果、選手団は出席理事全員一致で承認された。

# 第5号議案:ルーマニアジュニアサブジュニアの団長費用について

ジュニア、サブジュニアは未成年の学校園生徒を含む未熟者を引率する団長業務であり、団長への旅費及び宿泊費についてJPA負担とすることが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

## 第6号議案:人事(委員の追加)について

- (1) 広報委員会に北村織陽氏を追加する提案がなされ、プロフィール及び 推薦書の確認がなされた。審議の結果、出席理事全員一致で承認され た。
- (2) アンチドーピング委員会に古橋剛氏を追加する提案がなされ、プロフィール及び推薦書の確認がなされた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

#### 第7号議案:国体の出場枠及び選考方法変更について

国体公開競技の選考方法について検討がなされた。

- (1) 男女共同参画社会の実現に伴う参加定数(男女比)の見直しトータル人数を同一にして、女性48名、男性112名へと変更する。女性比率を高め、女性の参加促進を狙うものである。 審議の結果、出席理事全員一致で承認された。
- (2) 複数選考会出場方式の解消

都道府県選考において充足しない場合、ブロック大会単体での選考を 許容するものである。

審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第8号議案:鹿児島国体について

沖永良部島で開催する鹿児島国体公開競技について、離島開催であることとエントリー数の減少から、役員招集に必要な旅費宿泊費の捻出が困難である。鹿児島県による収支予算によると、約50万円の不足である。JPAによる助成金が40万円予定されているが、プラス10万円補填することについて議場に諮られた。審議の結果、補填案は出席理事全員一致で承認された。

第9号議案:公認器具メーカーONI社JPAロゴマーク使用許可について ONI社シャフトキャップ部へJPAロゴ使用の申請がなされた。審 議の結果、出席理事全員一致で承認された。

### 第10号議案:アジアベンチ大会準備状況

北海道アジアベンチ大会準備状況について、以下の報告及び審議事項の提案がなされた。

- (1) 外国人選手及び役員の入国及び出国状況 予想はしていたが、期日までに申し込みがなされておらず総数把握が困 難である。諸外国の実態を鑑みて準備を継続する。
- (2) 送迎コントロール

入国者数と日程が把握できず、送迎プランを立てることは困難であるため、大型バスはキャンセルとする。なお、この時期であればキャンセル 費用が不要である。

- (3)補助員、会場係等の配置について
  - 北海道協会川越氏より補助員及び会場係の募集状況について報告がなされた。1面開催であることと参加人数が少ないことを考え、追加募集については行わないことが提案された。
- (4) 会場賃借料の減免について 北海道洞爺湖町の協力により、会場費用減免措置が取られた報告がなさ れた。
- (5) 印刷物、設営、セレモニーその他の準備と購入の決裁について 競技会運営に必要な経費類「セレモニー、会場設営、ケータリング、 消耗品等」について見積もりが提示され、その必要性及び価格につい て検討された。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。
- (6)「メッカ」表記の使用方法について

メダル、Tシャツに「メッカ」の表記があることに気づいた。使用意図に悪意はないが、メッカはイスラム教の神聖な場所にあたり、放送業界も安易に使用しないルールであることが定められている。メダルとTシャツについて修正することが議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

第11号議案:新JPA旗発注と配布について

JPA旗について、各都道府県及び加盟団体への配布案が議場に諮られた。1枚約1万円で制作し各都道府県及び加盟団体に配布するものとする。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第12号議案:問い合わせチャットボット導入について

事務局の省人化について、事務局電話自動応答を導入して事務局員 2 名の執務時間を月 4 0 時間削減することができた。ただ、「労働」としてみると、1日平均10時間を超えるなど超過は常態化しており、休憩時間は取れていない。問い合わせ内容はホームページに情報がある内容が8割以上であり、必要な情報へ辿り着けないことが原因である。チャットボットで回答を誘導する提案がなされた。税別月3万円でホームページに組み込むことができ、即応性があるものであることから、事務局員個人所有の携帯電話への問い合わせが頻出している問題及びメールでの問い合わせが増加していることへの解消効果も見込める。審議の結果、出席理事全員一致で導入すること承認された。

# その他議案:

(1) 国際大会参加選手の問題行動について

倫理委員会を開催し、処分について検討がなされた。該当者より反省文の提出がなされたが、団長の指示に従わなかった件を合理化して述べている内容が大半であり、反省をしていると読み取ることができないため、次回理事会までにやり直しを命じることとした。本件、継続審議となった。

- (2) USAPL主催大会に出場したジュニア選手について 昨年6月IPF除名のアメリカ合衆国団体のパワーリフティング大会に出場 したジュニア選手について、欠格期間の1年が過ぎたため、JPA登録の是 非について議場に諮られた。審議の結果、当該選手が登録を申請した場合、 阻害しないこと出席理事全員一致で承認された。
- (3) 鹿児島国体プログラム制作について

当初、地元業者で話を進めていたが、約39万円と高価であり、他地域の会社で相見積もりを取得したところ、約10万円となった。国体は予算僅少であり安価な事業者へ入れ替えが提案された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

#### 報告事項:(1)令和6年度スポーツマスターズ記念事業

対馬市の開催に向けて、財団法人JKAへ申請を提出することの報告がなされた。請求の新規性を、「若年層人口減少が著しい離島での全国大会開催」、「対馬の観光資源紹介や移住定住部局との連携」、「レガシー活用による地元活性化」を柱とし、補助事業の結果を定量化されたアウトカム指標で判定するロジックである。

(2) 2024年2月京都ジャパンクラシックパワー大会について

予定していた亀岡の会場について、抽選において落選し、代替会場を探していたが、現在のところ見つかっていない。本件継続して会場を探すこととなった。

- (3) 国際大会ユニフォームについて ユニフォーム制作会社について、兵庫県姫路市のスポーツ店が対応可 能である。11月大会分より新ユニフォームとする。旧ユニフォーム については当面の間、使用できるものとする。
- (4)次回理事会日程10月5日(木)19時から

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了 したので、議長は23時30分に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和5年8月24日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会長(代表理事) 古城寬久處